

# 競技大会 トランプ(大富豪)ルールブック

## ◆ゲームの進行

- 1テーブル4名でプレイする。
- 予選、決勝トーナメント共に3ゲームを1セットとする。
- 1セットの総獲得ポイント（P）数で順位を決定する。
- 予選では順位によってトーナメント表の配置を決定する。
- 決勝トーナメントでは1テーブルの上位2名を進出とする。
- 各ゲームのポイントは「大富豪3P」「富豪2P」「貧民1P」「大貧民0P」

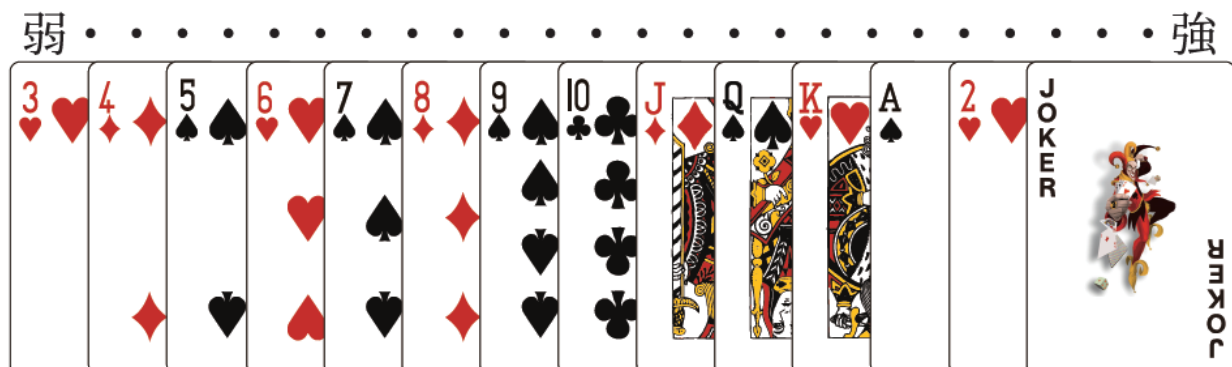
## ◆カードの強さと出し方

自分の番では「場に出ているカードより強いカードを出す」か「パス」のどちらかを選択する。カードを出して、自分以外の全プレイヤーがパスをしたら、そのターンは流れ、新しいターンを自分から開始できる。

最初に手持ちのカードを全て出し切った人（あがり）が1位となる。

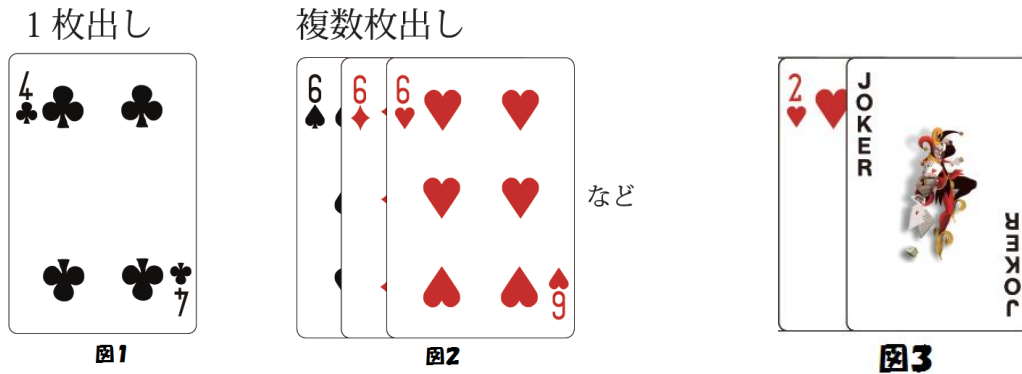
1位から順に大富豪→富豪→貧民→大貧民となる。

### 平常時のカードの強さ



## ◆カードの出し方と種類

カードを出すときは図1のように1枚か、図2のように同じ数字のカードを複数枚出すことができる。また図3のようにカードを複数枚出すとき、ジョーカーは数字に関係なく一緒に出すことができる。



## ◆カード交換

1 ゲーム終了ごとに決まる階級によって、次のゲームのはじめに、以下のカード交換を行い、手持ちカードとする。



# 6大ルール

## ◆革命(かくめい)

(ジョーカーも含め) 同じ数字のカードを4枚以上出すと、ゲーム終了時までジョーカーを除くカードの強さが逆転(3が最強、2が最弱)する。ただし再び革命(革命返し)が起きれば元に戻る。



## ◆8切り(やぎり)

8を場に出したときは、強制的にそのターンが終了し、次に自分からカードを出すことができる。8を複数枚出したり、ジョーカーと組み合わせて出すことも可能

## ◆都落ち(みやこおち)

大富豪より先に上がったプレイヤーが出たとき、大富豪であったプレイヤーは自動的に大貧民になり、手持ちのカードを放棄する。

※「都落ち」と「反則上がり」が同じゲーム内で出た場合は、都落ちしたプレイヤーは階級が1つ繰り上がる。

## ◆Jバック(イレブンバック)

Jを場に出したときは、そのターンの間カードの強さが反転(最強3、最弱2)。

## ◆スートしばり(マークしばり)

直前に出されたカードと同じスート(マーク)のカードが出された時、同ターン終了まで同じスート(マーク)のカードしか出せなくなる。ジョーカーを含む手ではしばりは発生しないが発生後にジョーカーを含んだ手を出してもしばりは継続する。

## ◆スペ3返し

ジョーカー1枚に対してのみ、スペード3を出すことができる。この瞬間のみ、スペード3がジョーカーに勝る。場は流れ、任意のカードから再スタートする。

※スート(マーク)しばりが発生していてもスペード3は出せる。

※ジョーカーを出したプレイヤーが最後の1枚だった場合には反則上がりが適用。

## 反則上がり

特定のカード(=ジョーカー、2、8、スペード3など)を最後に出してあがると、自動的に負けになる。

この反則あがりを複数のプレイヤーがした場合は、最初に反則あがりをしたプレイヤーから「大貧民→貧民・・・」となる。出されたカードは流れないが他のプレイヤーが全員パスした場合は場を流し、反則あがりの右側のプレイヤーから再スタートする。

※反則あがりとなるパターン

1. 最後に出したカードに「ジョーカー」「8」が含まれている。
2. 最後に出したカードが「スペード3」の1枚だったとき。
3. 革命が起きていないとき、最後に出したカードに「2」が含まれている。
4. 革命が起きたとき、もしくはJバックが起きているとき、最後に出したカードに「3」が含まれている。